

2020年度 群馬大学共同教育学部
推薦入試問題

教育心理専攻

小論文

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開いてはいけません。
2. 問題用紙は表紙を含め1枚、解答用紙は1枚、下書用紙は1枚です。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所があった場合には申し出てください。
3. 受験番号と氏名は全ての解答用紙の所定の欄に必ず記入してください。
4. 解答は指定の解答用紙に記入してください。
5. 解答用紙は持ち帰ってはいけません。
6. 問題用紙と下書用紙は持ち帰ってください。

教育心理専攻 小論文

問題

山村ら(2019)は、10の公立高等学校で高校生の学習時間などに関する調査を行った。10の高校はいずれも普通科中心の編制である。ただし学力には差があり、6校は「中堅校」、4校は中堅校よりも学力水準が高い「進学校」と表現されている。

高校2年の2学期に実施した調査には、以下の質問項目が含まれていた。

① あなたのいまの高校での生活についてお聞きします。あてはまるものをお答えください。

「勉強をがんばっている」

まったくあてはまらない

あまりあてはまらない

ややあてはまる

よくあてはまる

② あなたの学校の授業以外の学習時間（＝自宅や図書館、塾などの学習時間）はどのぐらいですか。

ア ふだんの状況（テスト期間中ではない、普通の日）…平日

イ テスト期間中

まったくしない

30分ぐらい

1時間ぐらい

2時間ぐらい

3時間ぐらい

4時間以上

図1は、①と②アの結果を組み合わせて示している。図2は、②のアとイの結果を組み合わせて示している。例えば図1の右上は、中堅校の生徒で①の質問に「ややあてはまる」「よくあてはまる」と回答し、かつ、平日に「1時間ぐらい」以上学習している生徒が、20.3%いることを表している。

図1と図2から、「進学校」と比較して「中堅校」の生徒の学習にはどのような特徴があるか、整理して述べなさい。（800字以内）

出典：山村滋・濱中淳子・立脇洋介（2019）. 大学入試改革は高校生の学習行動を変えるかー首都圏10校パネル調査による実証分析ー ミネルヴァ書房

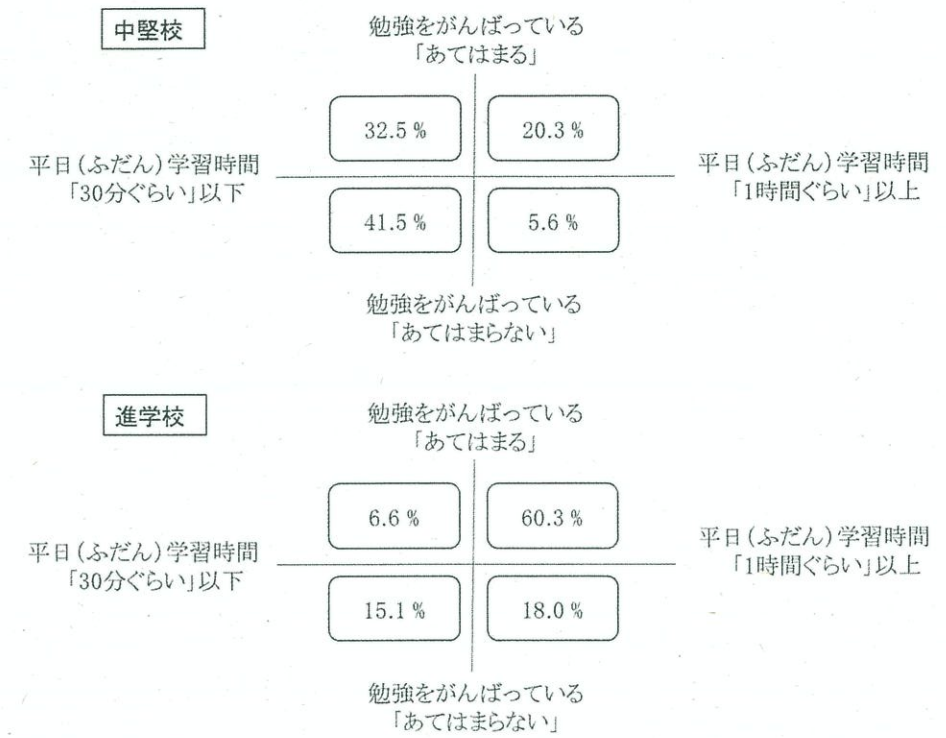


図1 質問①と②アに対する回答結果

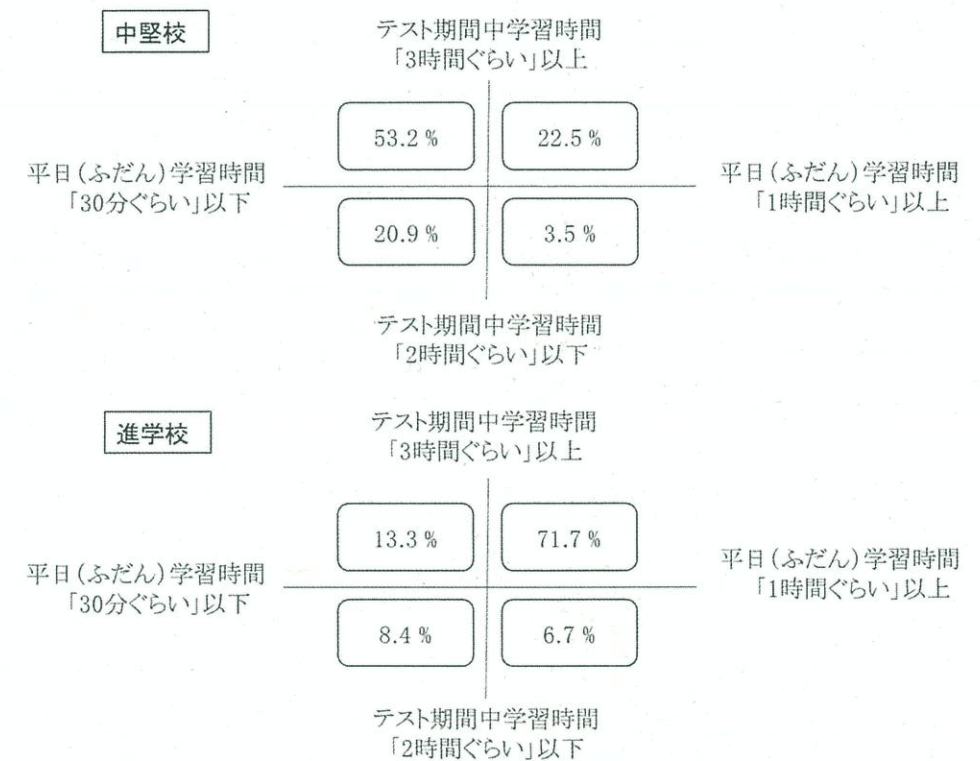


図2 質問②アと②イに対する回答結果